

天特進路だより

第4号

平成30年 8月 31日 発行
天竜特別支援学校進路指導課

長い夏休みが終わりました。夏休みは有意義に過ごせたでしょうか。まだまだ、暑い日が続きますが、体調を整えてがんばりましょう。

本日、中学部3年生、高等部1、2年生に第2回進路希望調査票を配布しました。親子で将来のことについてそれぞれの気持ちを伝え合い、理解する機会としてください。

自分の「伝えるチカラ」「理解するチカラ」をチェックしよう！

様々な場面（学校生活、進学・就職面接、卒業後の進路先など）でコミュニケーションは欠かすことができません。コミュニケーションを成立させるために必要なことが「伝えるチカラ」「理解するチカラ」です。どのくらい備わっているか、簡単なチェックリストを用意しました。チェックの数が多いほどそれぞれのチカラが備わっていると考えられます。参考にしてみてください。

「伝えるチカラチェック」

- 1 話をする時は、相手の方に顔や体の正面を向けるようにしている。
- 2 自分の意見を述べる時は、要点をわかりやすくまとめるようにしている。
- 3 細かい説明より、一番伝えたいことを最初に伝えるようにしている。
- 4 悲しい話は悲しそうに、楽しい話は楽しそうに、表情や身振りを交えるようにしている。
- 5 伝えたいことが正確に相手に伝わっているかどうかを考えながら、話を進めるようにしている。
- 6 相手に合わせて伝える手段を選ぶようにしている。
(対面、電話、文書、メールなど)
- 7 人前で話す時（面接など）は、伝えるべき内容や伝える順番をあらかじめ考えておく。
- 8 話している途中で自分が何を伝えたかったのか、わからなくなるようなことはない。



「理解するチカラチェック」

- 1 相手が話をしている時は、相手の方に顔や体の正面を向けるようにしている。
- 2 相手が話している時、話に合わせてうなずいたり、相づちを打つようにしたりしている。
- 3 相手の話が一区切りしてから、発言するようにしている。（話の途中で口をはさまない。）
- 4 興味が無いことでも、話は最後まで聞くようにしている。（話の途中で話題を変えない。）
- 5 話の内容がよくわからない時は、自分から質問や確認をするようにしている。
- 6 会話の結論を急がない。（「要するに、～ということでしょうか？」と話をまとめるようなことはしない。）
- 7 興味が無いからといって違うことを始めたり、つまらなそうな態度をとったりすることはない。
- 8 相手の話す内容が自分の考えと違っていても、否定するようなことはしない。

出典「障がい者のための就職・転職情報誌 サーナ」より